

JGN-X パートナシップ・サービス IP仮想化サービス

全国規模設置のIP仮想化ルータと仮想化ストレージによる基本環境

サービスの概要

●利用者自身で設定が行える仮想化環境

『IP仮想化サービス』の「IP仮想化ルータ」は、利用者にJGN-Xネットワーク上のハイエンドルータの利用権限を提供し、ネットワークポロジの最適化や、より複雑なルーティングを用いる実験が可能です。また「仮想化ストレージ」は、利用者にJGN-Xネットワーク上の仮想マシン／ストレージを提供します。

これらを組み合わせて利用することで、従来は困難だった応用性の高い実証実験などが可能となります。

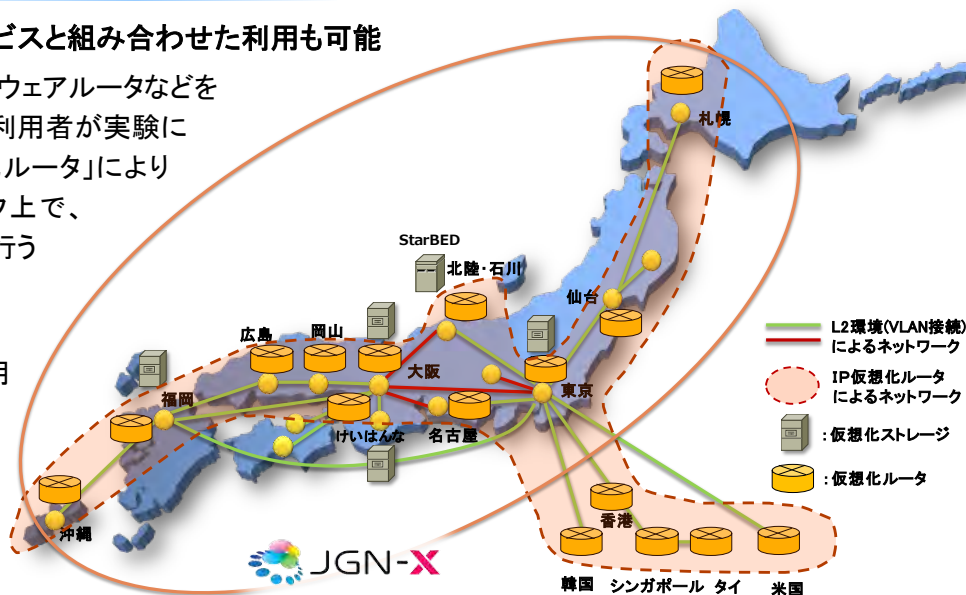
※IP仮想化ルータ：単一筐体内で複数動作可能な論理的なルータ機能を備えた装置。

利用例・適用分野

●他のパートナーシップ・サービスと組み合わせた利用も可能

利用者が独自に開発したソフトウェアルータなどを「仮想化ストレージ」に実装し、利用者が実験に適した設定を施した「IP仮想化ルータ」により仮想的に作られたネットワーク上で、実証実験（動作確認）などを行うことが可能です。

また、他のパートナーシップ・サービスとの組み合わせで利用することも可能で、利用者はルータやストレージを準備することなく、幅広い、より高度な研究開発や実証実験を行うことが可能です。



サービス環境など

●IP仮想化ルータ

全国の複数拠点に配備しており、仮想のルーティングプレーン（実験環境）と、それらを管理するコンソールを利用（設定、操作）いただく基本環境です。各拠点に設置のルータが持つ仮想ルータ機能（RIP、OSPF、BGP4、MPLS、各種カプセル化機能等）を利用者自身で設定することが可能です。

●仮想化ストレージ

全国の複数拠点（関東、近畿、九州等）に分散設置した、仮想マシン（VM）とストレージを利用いただく基本環境です。各拠点は JGN-X バックボーンと 10Gbps で接続されているため、広帯域、大容量のデータ転送を行う実験も可能です。利用者は VM (VMware) に自由に OS をインストールすることが可能で、4Gbps のファイバチャネルで接続されたストレージを利用できます。

お問い合わせ先: 国立研究開発法人情報通信研究機構 テストベッド研究開発推進センター テストベッド構築企画室

Tel : (03)3272-3060 Fax : (03)3272-3062 E-mail : jgncenter@jgn-x.jp URL : <http://www.jgn.nict.go.jp/>